

# 3学年通信

尾道市立高西中学校  
3学年通信第11号  
令和2年6月9日

## どんな生き方がしたいか

### ～過去の自分・今の自分・これからの自分～



学校が再開して、1週間が経とうとしています。久しぶりの学校生活はちょっと新鮮で楽しくて、でもちょっと疲れるな…といった感じではないでしょうか。

授業も再スタート！これからの授業では、これまで以上に「1時間、1時間の学び」で「何をどう学び、どのような力をつけていくか」ということをお互いに共有し、その上で、「振り返り」の時間をしっかりと確保していきます。みなさんの学力を向上させるとともに、自分自身の進路を実現していくために必要な力、そしてこれから予測不能な社会を生きていくであろうみなさんが、よりよく生きていく力をつけていくために必要な力をつけるためです。

さて、3年生として再スタートをきった今、みなさんにぜひ考えてもらいたいことがあります。それは、「どんな生き方がしたいか」です。中学校を卒業する時の自分はどうありたいのか、そして、将来どんな人になっていきたいのか、じっくりと考えてみてほしいのです。そして、昨年度の自分自身をもう一度振り返ってみてください。「ありたい自分の姿」に対して、今までの自分はどうかであったか、なりたい自分になるための自分自身の課題はどこにあるかを考えてみてほしいのです。そうすることで、おのずと自分自身の目標が見えてきます。最終学年として頑張っていくために何をしていけばいいのかが明確になると思うのです。

みなさんを幸せにするのはみなさん自身です。周りの力を借りながら、自分のできることは自分でし、周りの人たちとともに励まし合いながら、定めた目標とそれに対する今の自分を見つめていく中で、「今、自分が頑張ること」「やるべきこと」の達成に向けて頑張る—その積み重ねが「自分自身が求める生き方」につながっていきます。だからこそ、気持ちも新たに最高学年として再スタートをきった今、「どんな生き方がしたいか」、自分自身と向き合っていきましょう。

## 感謝の思いを～あいがとうの思いを込めて～



今もお、最前線で新型コロナウイルスの対応に当たられている医療従事者の方への感謝の気持ちを込めて、帰りのホームルームで「感謝の拍手」を行いました。この感謝の思いを表そうという動きは全国で広まっており、「フライデーオーバーション」と呼ばれています。

私たちが学校を再開することができたのも、ひとりひとりの意識だけではなく、感染拡大防止の最前線で頑張っておられる医療従事者の方のおかげでもあります。「どこかで、今のこの時間も、私たちのために新型コロナウイルスと闘っている方がいる。」—そのことへの感謝の思いを忘れずにいたいですね。そして、感謝の思いを「手洗い・マスク・ソーシャル・ディスタンス」など、日々の行動としても表していきたいですね。



### 保護者のみなさまへ

学校が再開して1週間が経ちました。久しぶりの学校で、仲間との再会を喜びながらも疲れを感じている子どもたちが多くいたように思います。この土日で体を十分休めることができたいと思います。

今週からは6時間授業、そして部活動再開です。学校でも子どもたちの心身の状態をしっかりとみながら、日々の活動をともにしていきたいと思っております。また、引き続き、感染予防のための声かけを続けていきたいと思っております。ご家庭でも引き続き話題にさせていただけたらと思っております。よろしくお願いいたします。